

はまだ議会だより mini

不登校児童生徒支援策について2施設を視察

総務文教委員会では、先日、所管事務調査のテーマとしている「不登校児童生徒への支援」について2施設を視察しました。不登校特例校とフリースクールといったおのおのの形式は違いますが、一人一人と向き合うことの重要性が、いずれの施設関係者の姿勢からもうかがえました。不登校児童・生徒たちを支援する「教育機会確保法」が2017年2月に施行されて



以降、全国各地、公民さまざまな形で支援策が講じられています。教育や居場所の「選択肢」が求められています。



浜田市ではどんな手立てを打つべきか、さまざまな取組を引き続き研究・協議していきます。視察の詳細報告は議会のホームページからご覧ください。（総務文教委員会）

三階小6年生が議会見学

6月20日に三階小学校から30名の児童が議会の見学に来ました。議長から議会の役割や市に声を届ける方法などの話を聞いた後、個人一般質問を傍聴されました。児童からは「議員さんは浜田市のことを考えて頑張っているんだと分かりました」「20分ちょうどで質問を終えていてすごかった」

などの感想がありました。コロナ禍もあり3年ぶりの小学生による議会見学で、傍聴席に児童がいる光景に懐かしさを感じました。（議会事務局）



議員のつぶやき

“国府海岸の夏が戻ってきたあー”

コロナ禍で県外への移動も制限され、海水浴もはばかられ閑散とし、海岸で行われていたイベントも中止となり、にぎわいが消えていました。今年は海フェスが開催され、国府海岸夏神楽、TERAフェスなどのイベントが予定されています。きれいな浜辺で海水浴を楽しむ、イベントを楽しむ、どちらも国府海岸の魅力ではないでしょうか。（沖田真治）



議長 7/19 全国市議会議長会 日誌 特定第三種漁港協議会定期総会

全国の特定第三種漁港（13港）の所在する市議会議長で構成される本協議会の総会が静岡県焼津市で開催され、水産業に関する諸課題を協議し、国への要望をまとめました。浜田漁港では、漁船漁業の減船や漁業者の高齢化、水揚げ高の激減など多くの課題があります。水産都市浜田が活性化するように取組めます。



浜田市議会はSDGsを推進しています。